

実地演習（実働演習 下山・運搬班）

下山口で踏込で踏込消毒及び全身消毒、運搬班へ死体と検体を引継ぎ



実地演習（実働演習 運搬班）

運搬車両、消毒ポイントを経由



実地演習（実働演習 運搬班）

焼却施設に到着、ブルーシート展開、荷降ろし、焼却処分（基本方針 第11の2の（3））



実地演習（実働演習 運搬班）

一般車両への消毒マットによる消毒

基本方針第8 消毒ポイントの設置 抜粋

「感染いのしし生息域内等を通過する林道、農道、歩道等に設置される消毒ポイントでは、野生いのししにおける感染拡大防止対策のため、原則として一般車両も消毒の対象とする。」

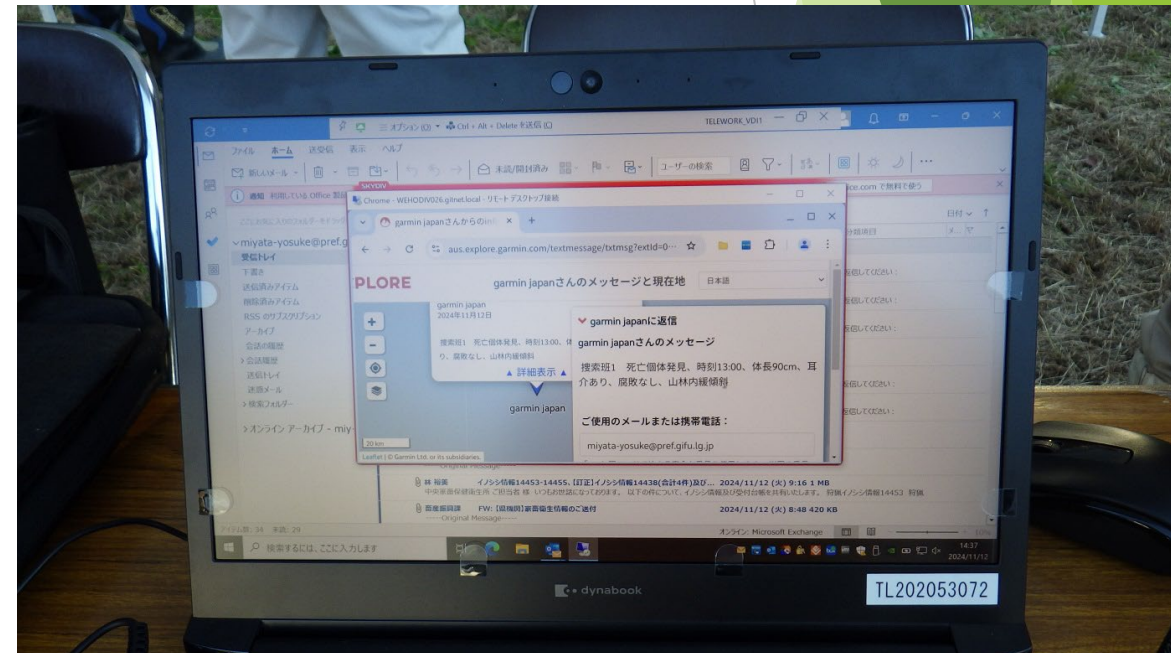
防疫指針留意事項6 8の2の（2）一般車両 抜粋

「少なくとも、車両用踏込消毒槽や消毒マットを用いた消毒を実施すること。」



実地演習（実働演習 現地支援班・柵設置）

搜索班、処理班ら現地で活動する人員への資材・消耗品等のサポート、情報のとりまとめと報告・連絡



実地演習（実働演習 現地支援班・柵設置）

搜索範囲からのアフリカ豚熱感染野生いのししの散逸及び非感染野生いのししの侵入を抑制するための電気柵設置



講 評

農研機構 畜産研究部門
動物行動管理研究グループ上級研究員 平田先生



農林水産省消費安全局動物衛生課
永田課長補佐



- ・昨年度の死体搜索中心から内容が上乘せされ、死体処理・柵設置など作業全体を確認できるものであった。また、林業、建設業など様々な分野から参加があったことも評価できる。
- ・今回の演習はポイントを押さえており、効率的に作業内容が把握できるものであった。

反省点と今後

【参加者アンケートで出された意見の例】

- ・「アフリカ豚熱の早期発見、対応の重要性を理解できた。」
- ・「ナッジ手法の有効性を分かり易く説明していただいた。」
- ・「演習は4班に分かれて一通りの作業が経験できて具体的にイメージできた。」
- ・「採材作業の際に、汚染が心配される場面があった。」
- ・「山林内での作業は未知数だと思います。」

【今後の課題】

- ・市町村及び団体支部への説明、理解促進
- ・作業委託の検討
- ・地域段階での体制整備